

2023（令和5）年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1495000398	事業の開始年月日	平成26年4月1日
		指定年月日	平成26年4月1日
法人名	株式会社ケア		
事業所名	グループホーム殿町		
所在地	( 210-0821 ) 神奈川県川崎市川崎区殿町2丁目14-11		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	令和5年1月26日	評価結果 市町村受理日	令和6年5月29日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

1、日中は人員を増やし入居者様の思いを少しでも現実に近づけるように努めております。 2、この地域で生活するという意識を持っていただけるよう町内会の催しに積極的に参加しています。  
大家族で生活しているという考え方のもとで個人の能力を生活に活かし個人に合った生活が出来るよう努めています。季節感のある工作の作成や手作りおやつ作り、食レク等を行事に取り入れ、職員共々楽しめる空間づくりを心掛けています。

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和6年3月12日	評価機関 評価決定日	令和6年5月15日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、京浜急行大師線の「小島新田」駅から徒歩約7分ほどの木造2階建てに18名の利用者が暮らしています。同一法人のグループホームも隣接しています。

<優れている点>

事業所の理念は、法人理念の他に職員が作成した「安心して笑顔あふれるフロア」を掲げています。職員はみな明るく笑顔をもって利用者に寄り添い、利用者との会話も家庭での何気ない会話のように話しながら利用者の一つひとつの言動を注視する支援に努めています。利用者の笑顔を引き出す一つに食事やおやつにメリハリをつけ、食べることが楽しめる食事環境を大切にしています。食材は業者委託ですが、職員が当番制で工夫を凝らした献立を提供しています。職員それぞれの家庭の味やベトナム・フィリピンなどの外国からの従業者による母国の料理も提供し、目新しい料理に利用者との会話も弾み、自然に笑みがこぼれる施設環境です。また、飲み物は、利用者のその日の好みでジュース、コーヒー、紅茶、日本茶など、気分に合わせて選ぶことができ、一人ひとりの自立度に合わせた自己決定も大切にする支援を行っています。

<工夫点>

外国からの支援者も従事しているため、新人職員や習熟度に合わせたOJT制度の取組みを積極的に行っています。また、グループワークで先輩・後輩職員が共に学ぶ機会も設けています。事業所では、日常的に法人の方針に沿った支援の理解浸透が図られています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	12～16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	17～23
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホーム殿町
ユニット名	殿町1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	安心して笑顔あふれるフロア	法人の理念に「笑顔の提供」を掲げ、さらに理念に基づいた職員の行動指針を明確にしています。また、事業所独自の理念として「安心して笑顔あふれるフロア」を職員で作成しています。利用者に寄り添うことを第一とし、笑顔を絶やさず、利用者との信頼関係を築いています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域のお祭りなどの地域行事に参加している 公園盆踊り、町内の草むしり 廃品回収などに参加し地域とのコミュニケーションを大切にしています	地域の一員として自治会に加入し、運営推進会議では自治会々長や婦人会から会議メンバーとして参加してもらっています。自治会の行事には、利用者の自立度に合わせて参加しています。また看護師によるコロナ対策について地域住民や家族に向けた説明会も行っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を開催して地域の方の意見を聞いて理解して頂けるように努力している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	開催している会議では地域との関わり職員研修行事企画医療機関との感染症対策などについて意見交換を行いより良いサービスの向上に生かしています	定期的に運営推進会議を開催しています。同一法人の3施設合同で行っており、統一的な運営について現状報告をしています。参加者は法人や事業所関連者で構成し、毎回異なるメンバーで会議を進めています。	会議は、地域の知見者・利用者家族など、事業所と地域の交流促進を図るよい機会と考え、3施設の各取組の現状や検討課題について参加者から意見や助言を得るなど、地域に密着した双方向的な会議が望まれます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市、区の担当者と連絡を取り合い情報交換をはじめとした連携相談報告を行い現場の実情など伝えるよう努めている	入居時の相談、事業所の取組や現状報告について川崎市の各担当部署と連携を図っています。また、健康福祉局長寿社会部主催の「かわさき健幸福寿プロジェクト」に参加するなど、市の取組に協働できるように努めています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	事業所の勉強会で身体拘束について取り上げたりカンファレンスや日々の中でも職員同士で身体拘束をしないケアに取り組むよう声掛けをしたりしている	身体拘束委員会を定期的実施すると共に「基本的な身体拘束・拘束をしないケア、身体拘束がもたらす弊害」などについて内部研修を行っています。また、その他に外部研修の受講者による報告会として研修資料を配布し、フロアミーティングや職員会議で意識を高め、理解の浸透に務めています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	事業所の勉強会で学ぶ機会を設けるだけでなく日頃より職員同士で気を付け気になる事があった時にはリーダーに報告しカンファレンスや申し送りの時に皆で気を付けるよう話しています	高齢者虐待防止法について内部研修を定期的に行っています。また、職員自身の振り返りとして自己チェックを行い、禁止の対象となる言動について全職員で確認をし、取り組んでいます。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会や研修で学ぶ機会はあるが内容が難しく理解には至っていない為今後も継続的に学ぶ機会が必要である		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時担当者が説明をし ご家族様の不安や 疑問にお応えできるよう十分な説明をし ご理解いただけるよう努めています		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様来訪時や電話で近況報告をする際意見や要望等を気兼ねなく言ってもらえる雰囲気を作るよう心掛けています	毎月のお知らせには、利用者の日常や行事の様子に写真やコメントをつけ、意見や要望も尋ねています。また、来訪時にも聞いていますが、個人的な要望が多く、柔軟に支援をしています。外部の相談先等は重要事項説明書に明記し、入居時に説明をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンス個人面談で日常的に意見や提案をしやすい環境になっている	職員の意見・提案などを日常的な会話や会議などで聞きとり、代表者には毎月の活動報告とともに職員の意見・提案も報告しています。職員の提案などは、柔軟に反映し、近々では、エアコンの修理など、設備の改善につなげています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	希望休の受け入れ家庭に合わせた勤務体制を取っており働きやすい環境に努めています	職員の家庭環境や健康状態を把握し、シフト調整や休暇取得に配慮しています。外国からの支援者も従事しており、個人面談やコミュニケーションを取りながら職員の良好な就労環境に努めています。定期的に健康診断をし、メンタルケアにも配慮しています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新人職員には介護の基礎から利用者様への関わりについて丁寧な指導を実施しています 介護基礎研修や実践者研修他外部研修に関しても積極的に参加できるよう環境が整っています	職員の資格取得を把握し、本人の希望や資質向上の環境を整えています。新人職員や習熟度に合わせたOJT制度を設け、現場のケアの統一と質の底上げに取り組んでいます。またグループワークを行い、先輩・後輩職員が共に学び合える機会も設けています。	ガイダンスとして統一的な支援のマニュアル作成も期待されます。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	実習生の受け入れや外部の研修交流する機会は多くはないが あります		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービスの利用を開始する段階でご本人、ご家族、病院、利用されていたサービス事業所からの情報をもとに入居者が困っている事不安に思っている事に耳を傾け安心して頂けるように努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスの利用を開始する段階でご本人、ご家族、病院、利用されていたサービス事業所からの情報をもとにご家族様が困っている事不安に思っている事に耳を傾け安心して頂けるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前情報をもとにご本人やご家族のお話を伺い 必要なことを見極めていきます		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様に寄り添い 得意分野を探りながら毎日に生活の中で生かせるよう工夫や配慮をし共に暮らすもの同士の関係を築いています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	来訪時や電話で日々の様子や体調面等をお話しするようにしています		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	希望の時には電話をしたり手紙を書いたりしている	一人ひとりのADL（日常生活動作）・QOL（生活の質）を把握し、出来ることから手助けが必要なことを見極めながら本人の今までの生活スタイルの継続支援に努めています。節分会で豆まきをしていた人と神社に出向いたり、冠婚葬祭時にも必要に応じた支援を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	状況に応じて席を設置しています 全員で食事が出来るよう声掛けをしています1、2階合同のレクリエーションを定期的に行い利用者様同士の交流の場を作るようにしています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了されてからも相談のご連絡があった時などは状況に応じて対応しています		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で言動や表情などから気持ちを汲み取り把握するように取り組んでいます	支援時には表情などの非言語にも配慮しています。積極的な参加や、何となく参加をためらう様子からも気持ちを汲み取るようにしています。会話ができる人からは気持ちを引き出す声掛けをしています。食事に関しては、なるべく希望を叶えるようにしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様から 生活歴、環境、仕事等小さなことでも情報を伺うことにより全体像を把握し日常生活に近い支援を取り入れています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々日常生活の観察とバイタルチェックを行い体調変化などあった時には記録申し送りで確認している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	チームでアセスメントを行い 本人、家族、関係者それぞれの意見や毎月行っているカンファレンスで出た課題や改善点を取り入れ担当者が作成している	新聞を読みたい、相撲・野球を見たいなどの余暇活動や、洗濯物干し・たたみなどの役割を担う家事の要望を取り入れています。生活記録や個人記録を中心に、毎月カンファレンスで利用者の状態確認を行い、本人・家族の意見を聞いて介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入居様様の体調管理身体状況については生活記録及び個人記録に付けている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	状況に応じて通院や送迎等対応しています既存のサービスにとらわれないよう必要な支援は柔軟な対応が出来るよう取り組んでいます		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣への食事レクリエーション 買い物 散歩 町内化の盆踊り 訪問カット マッサージ施術 暮らしの中にも楽しみを多く取り入れています		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご家族様 ご本人様の希望を尊重し医療機関を決めていただきます 月二回の往診 24時間の緊急体制を取っており適切な医療を受けられるよう支援しています	24時間緊急体制がある訪問医と毎週来訪する看護師の体制があり入居者の健康管理を行っています。担当職員が往診ノートへ状況を記載したり、グループラインで他の職員に診察後の薬の変更や体調の留意点の連絡を行い、共有しています。	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎日のバイタルチェック往診ノートを活かし 体調を常に把握しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携している病院とは常に情報を交換し共有しているがそれ以外の病院に入院された時には情報提供を速やかに行い方針を共有し関係づくりに取り組んでいる		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	看取りの支援を希望されるご本人様やご家族様と話し合いを行い 方針を共有し 病院と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化の指針やマニュアルがあり、入居時に説明をしています。重度化した時は医師から状態説明をして再度確認し、看取りの同意書を交わしています。看取り時に布団を敷いて本人と過ごした家族もいます。職員は双方に寄り添い、振り返りをしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員の分かりやすい位置に医療機関への連絡網を掲示しています		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署協力の元毎年避難訓練を実施し消防署からのアドバイスを反映させ全職員が適切な避難方法が出来るよう適切に努めている	年2回避難訓練があり、火災報知設備、消火器の使い方などを行い、全職員が通報する為の電話のかけ方を学んでいます。水害に備えて避難方法について消防署の指導を受けています。災害BCP（業務継続計画）も作成し、災害時の備蓄、備品リストも掲示しています。	隣接する施設に両施設の備蓄・備品が保管されていますが、施設毎の備品・備蓄の保管とリストの作成が期待されます。電話の側に緊急連絡方法の手順書も貼付していますが、誰もが見やすい手順書の作成を期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	言葉の表現が困難な方や耳が聞こえにくい方等に合わせ視線を低くしたり傾聴の態度をとっている一人ひとりの人格や思いを尊重しプライドを傷つけないような対応をしている	ユマニチュードを取り入れて、認知症の人であってもその人に寄り添って、目線を合わせて傾聴する事を大切にしています。敬語を使う事よりも利用者の気持ちに寄り添う事を大切にしています。排泄、入浴時などへの言葉掛けや支援は、本人だけでなく周囲へも配慮しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	一日の活動内容やおやつ時の飲み物等選択できるよう設定し一人ひとりの意見や希望が言えるよう働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	天候の良い日は散歩や買い物に出かけます入浴日は決まっていますが常に変更が出来ご本人様の気持ちを優先しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時は暖かいおしぼりを使用鏡の前で整容を行っています訪問美容カットにてご本人様の希望を取り入れています		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	月に何度かおやつ作りレクリエーションを行っています一人ひとり出来る範囲を把握しながら分担し手伝って頂き楽しんでいます	業者から届く食材の組み合わせを変え、時には炊き込みご飯と和え物などを提供しています。職員の出身国の料理を振舞うこともあります。お茶、ジュース、ピーチティー、コーヒー、紅茶、など本人が選択できるように複数の飲み物を用意しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	キザミやミサーやトロミなど一人ひとりの状態や力に応じて対応しており状況によっては医師 歯科医と相談することもある		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	声掛けを行い見守りをしています 自力で出来ない利用者様は介助にて口腔ケアを行い清潔を保つことが出来るよう支援している		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を利用し個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導等行いトイレでの排泄、自立に向けた支援をおこなっている	生活記録表があり、体温、血圧から食事、水分量、排泄状況など確認しながら、こまめな声掛けを行ってトイレでの排泄を大事にしています。転倒のリスクなどでトイレ内で見守りをする場合には下半身にタオルをかけるなど羞恥心に配慮し、支援を行っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	ヨーグルト、牛乳 バナナ腹部マッサージ等予防に取り組んでいます また、状況によっては医師に相談し便秘薬を処方して頂く等しています		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週二回、本人の体調や希望に応じて、入浴や清拭の支援をしています 入浴剤を使い香りや色で楽しんでいただく工夫をしています	自立の人から、歩行が難しい人でも入浴できるシャワーキャリーリフトがあり、ゆっくりその人の状態に合わせた入浴の支援をしています。好みの香りや色の入浴剤を選択するなど楽しめる工夫もしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中に活動を増やし個別に就寝時間を調整し一人ひとりのリズムを把握しています。睡眠時間を細かく記録に残しパターンを掴めるようにしています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	誤薬のないように日付や名前の確認で渡すときに読み上げ薬のセット時には複数の職員で確認しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	力量に応じ生活の中で役割を持って頂くことが出来るよう対応しています。また、お誕生日会や行事等喜んでいただけるよう支援しています		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	気候が穏やかな日は散歩に行っています。ご家族様にご協力頂いて外出される方もいます。また暖かい日は洗濯物を一緒に干したり外気に触れる機会が増えるよう心掛けています	天気の良い日は、近所の公園、桜の花見、神社に散歩に行っています。コンビニエンスストアや、パン屋への同行支援、正月には、車で初詣にも行っています。日常的に、外気浴も兼ねた洗濯物干しや、取り込みなどもお願いしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族様の承諾の元預り金から希望に応じて使えるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望時には電話が出来るよう支援しています		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節を感じる事が出来るよう月ごとに壁面制作を変えています共有の空間は清掃し清潔を保つことが出来るよう努めているまた、場所が分かりやすいようにトイレや部屋の入り口には表札を取り付けている	リビングのソファや椅子に座り、テレビを見たり、新聞を読んだり、会話をするなど、自由に過ごしてもらえよう空間に配慮しています。壁面は月ごとの制作物や折り紙の作品、カレンダーなどを飾っています。毎食後に歯磨きを行っています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアにソファに設置したりテーブルが複数個あり気の合った利用者様同士で過ごすことが出来るよう工夫しています		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具や好みの物を持ってきていただき居心地よく過ごせるよう配慮しています	居室は全室介護ベッドを設置しています。自宅からテーブル、椅子、タンスなどを自由に持ち込んでいます。雑誌や数字のパズル、家族の写真、鏡、櫛、綿棒、ティッシュ、筆記用具や手帳などを持参し、馴染んだ居心地良い部屋になるようにしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	床はバリアフリー設計になっておりフロアには手すりを設置している		

事業所名	グループホーム殿町
ユニット名	殿町2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	安心して笑顔あふれるフロア		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域のお祭りなどの地域行事に参加している 公園盆踊り、町内の草むしり 廃品回収などに参加し地域とのコミュニケーションを大切にしています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を開催して地域の方の意見を聞いて理解して頂けるように努力している		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	開催している会議では地域との関わり職員研修行事企画医療機関との感染症対策などについて意見交換を行いより良いサービスの向上に生かしています		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市、区の担当者と連絡を取り合い情報交換をはじめとした連携相談報告を行い現場の実情など伝えるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	事業所の勉強会で身体拘束について取り上げたりカンファレンスや日々の中でも職員同士で身体拘束をしないケアに取り組むよう声掛けをしたりしている		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	事業所の勉強会で学ぶ機会を設けるだけでなく日頃より職員同士で気を付け気になる事があった時にはリーダーに報告しカンファレンスや申し送りの時に皆で気を付けるよう話しています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会や研修で学ぶ機会はあるが内容が難しく理解には至っていない為今後も継続的に学ぶ機会が必要である		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時担当者が説明をし ご家族様の不安や 疑問にお応えできるよう十分な説明をし ご理解いただけるよう努めています		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様来訪時や電話で近況報告をする際意見や要望等を気兼ねなく言ってもらえる雰囲気を作るよう心掛けています		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンス個人面談で日常的に意見や提案をしやすい環境になっている		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	希望休の受け入れ家庭に合わせた勤務体制を取っており働きやすい環境に努めています		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新人職員には介護の基礎から利用者様への関わりについて丁寧な指導を実施しています 介護基礎研修や実践者研修他外部研修に関しても積極的に参加できるよう環境が整っています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	実習生の受け入れや外部の研修交流する機会は多くはないが あります		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービスの利用を開始する段階でご本人、ご家族、病院、利用されていたサービス事業所からの情報をもとに入居者が困っている事不安に思っている事に耳を傾け安心して頂けるように努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスの利用を開始する段階でご本人、ご家族、病院、利用されていたサービス事業所からの情報をもとにご家族様が困っている事不安に思っている事に耳を傾け安心して頂けるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前情報をもとにご本人やご家族のお話を伺い 必要なことを見極めていきます		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様に寄り添い 得意分野を探りながら毎日に生活の中で生かせるよう工夫や配慮をし共に暮らすもの同士の関係を築いています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	来訪時や電話で日々の様子や体調面等をお話しするようにしています		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	希望の時には電話をしたり手紙を書いたりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	状況に応じて席を設置しています 全員で食事が出来るよう声掛けをしています1、2階合同のレクリエーションを定期的に行い利用者様同士の交流の場を作るようにしています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了されてからも相談のご連絡があった時などは状況に応じて対応しています		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で言動や表情などから気持ちを汲み取り把握するように取り組んでいます		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様から 生活歴、環境、仕事等小さなことでも情報を伺うことにより全体像を把握し日常生活に近い支援を取り入れています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々日常生活の観察とバイタルチェックを行い体調変化などあった時には記録申し送りで確認している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	チームでアセスメントを行い 本人、家族、関係者それぞれの意見や毎月行っているカンファレンスで出た課題や改善点を取り入れ担当者が作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入居様様の体調管理身体状況については生活記録及び個人記録に付けている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	状況に応じて通院や送迎等対応しています既存のサービスにとらわれないよう必要な支援は柔軟な対応が出来るよう取り組んでいます		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣への食事レクリエーション 買い物 散歩 町内化の盆踊り 訪問カット マッサージ施術 暮らしの中にも楽しみを多く取り入れています		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご家族様 ご本人様の希望を尊重し医療機関を決めていただきます 月二回の往診 24時間の緊急体制を取っており適切な医療を受けられるよう支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎日のバイタルチェック往診ノートを活かし 体調を常に把握しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携している病院とは常に情報を交換し共有しているがそれ以外の病院に入院された時には情報提供を速やかに行い方針を共有し関係づくりに取り組んでいる		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	看取りの支援を希望されるご本人様やご家族様と話し合いを行い 方針を共有し 病院と共にチームで支援に取り組んでいる		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員の分かりやすい位置に医療機関への連絡網を掲示しています		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署協力の元毎年避難訓練を実施し消防署からのアドバイスを反映させ全職員が適切な避難方法が出来るよう適切に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ごん人のプライバシーを尊重するためにトイレ誘導時入浴時の周りの方々への配慮 居室で自由に過ごせる配慮 レクリエーションの自己決定を出来るように努めています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者の自己決定を優先とし思いや希望を発信しやすい環境づくりや普段の会話や表情などから自己決定出来るよう働きかけ家庭的な暮らしが送れるよう支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々のペースを大切にしながら支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	口元や衣類の汚れ 衣類の乱れなどさいていげんのいしきはしているが それ以外のオシャレの部分に関しては職員個々の意識の部分になってしまっている為ご本人の意向を尊重し支援できるようにしていきたい		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	個々に合わせてキザミ食やペースト食にて対応を行ったり、季節に合わせたメニューやお誕生日にはホールケーキを囲ったりご利用者様のリクエストを伺ったりしています食後の片付けをご利用者様同士が協力しながら一緒に行って下さっています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量や水分量が少ない方には日誌などに記入し把握に努めている バランスについては本人の好みもありある程度偏った摂取になっているが日々の声掛けや主治医からバランス良く摂取するよう促してもらっている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	朝昼夕にかならずこうくうケアをおこない清潔保持に努めています また訪問歯科と提携し随時相談出来るようにしている		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導等行いトイレでの排泄、自立に向けた支援を行っている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日本体操で身体をうごかすようにしています。ヨーグルト、牛乳 バナナ腹部マッサージ等予防に取り組んでいます また、状況によっては医師に相談し便秘薬を処方して頂く等しています		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週二回、本人の体調や希望に応じて、入浴や清拭の支援をしています 季節によってしょうぶ湯にしたりゆず湯にしたり入浴でも季節を感じられるようにしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	1人1人の生活パターンを把握しタイミングよく眠れるように支援している 個々の状況に応じて安眠を妨げないように時間差で起床対応することもある		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	誤薬のないように日付や名前の確認で渡すときに読み上げ薬のセット時には複数の職員で確認しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	生活の中で役割を持って頂くことが出来るよう対応しています。また、お誕生日会や行事等喜んでいただけるよう支援しています		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	気候が穏やかな日は散歩に行っています。また暖かい日は洗濯物を一緒に干したり外気に触れる機会が増えるよう心掛けています		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族様の承諾の元預り金から希望に応じて使えるよう支援しています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望時には電話が出来るよう支援しています 手紙が来た時文字が読めない方へはスタッフが一緒に読んだりお礼の電話をしています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節を感じる事が出来るよう月ごとに壁面制作を変えています共有の空間は清掃し清潔を保つことが出来るよう努めているまた、場所が分かりやすいようにトイレや部屋の入り口には表札を取り付けている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアにソファに設置したりテーブルが複数個あり気の合った利用者様同士で過ごすことが出来るよう工夫しています		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具や好みの物を持ってきていただき居心地よく過ごせるよう配慮しています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	床はバリアフリー設計になっておりフロアには手すりを設置している		

2023年度

事業所名 グループホーム殿町

作成日： 6年 5月 20日

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	会議は、地域の知見者・利用者家族など、事業所と地域の交流促進を図るよい機会と考え、3施設の各取組の現状や検討課題について参加者から意見や助言を得るなど、地域に密着した双方向的な会議が望まれます	事業所内で地域の方や、利用者家族など、より密な方々と交流促進を図りたい。	町内会長さんや、民生委員の方にも声を掛け、推進会議を行っていく。交流を図り、助け合いが出来るようにする。	6ヶ月
2	13	ガイダンスとして統一的な支援のマニュアル作成も期待されます。	新人教育マニュアルを作成したい。	外国人や年配の方が活躍しているので、大きな字やフリガナを振る等、誰もが分かりやすい教育マニュアルの作成を行う。	3ヶ月
3	35	隣接する施設に両施設の備蓄・備品が保管されていますが、施設毎の備品・備蓄の保管とリストの作成が期待されます。電話の側に緊急連絡方法の手順書も貼付していますが、誰もが見やすい手順書の作成を期待します。	隣接する施設にある備品を各事業所に移動し、分かりやすく取り出しやすいよう工夫したい。誰もが見やすい手順書を作成したい。	備品、備蓄の具体的なリスト作成をし、職員が分かりやすく、非常時にすぐ活用出来るように取り出しやすい場所に保管する。誰もが見やすいように改善した手順書を作成します	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月